



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	雜報
Citation	北海道帝國大學法經會法經會論叢, 6, 173-176
Issue Date	1938-03
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/10662
Type	other
File Information	6_p173-176.pdf



雜報

□寄贈圖書並雜誌

法經會記事

法經會論叢第五輯發行後今日に至るまでに、本會は七回の例會を開いて會員の研究報告を行ひ、尙其の問一氏入會一氏退會した。即ち次の如くである。

昭和十二年

第七十一回、三月十六日、曾我孝之「日本精神に就て」

第七十二回、四月三十日、松田武雄「土地に關する經濟學的考察（土地所得）」

第七十三回、六月二十九日、荒又操「工業經濟學の構成に就て」

第七十四回、七月二十四日、渡邊侃「琉球の話」

第七十五回、十月二十三日、佐藤昌彦「アメリカの中立法に就て」

（工藤元氏會員となる、會員現在數十八名）

第七十六回、十一月二十日、高倉新一郎「北海道舊土人保護法に就て」

第七十七回、十二月二十七日、南鐵藏「明治維新前に於ける北海道の農業事情、主として田畑耕作地發展の圖解的説明」

（昭和十三年一月穗積秀二郎氏退會、會員現在數十七名）

法律時報	日本評論社
主計會報告	海軍省主計會
同志社論叢	同志社法學會
鳥取農學會報	鳥取農學會
關西大學研究論集	關西大學々會
關西大學々報	關西大學々報局
民間傳承	民間傳承の會
早稻田商學	早稻田商學同政會
大倉學會誌	大倉高等商業學校研究室
卸賣（批發）物價	滿洲國經濟部商務司
零（小）賣物價	同
研究論集	高岡高等商業學校研究會
經濟集誌	日本大學商經學部
土地所有の分化	柏祐賢 京大・農學部
地租増稅論	大槻正男 京大・農學部
職能立法としての小作法	同
滿洲國輸出品詳細統計	滿洲國經濟部大臣官房
康徳元、二年度	同
滿洲國課稅輸入品詳細統計	同
康徳元、二年度	同
同	同
康徳二、三年度	同

□法經會論叢總要目 (自第一輯 至第五輯)

第一輯

北海道に於ける農作中心の移動に關する研究

荒又 操 一頁

フェルナー教授の國民財産評價論 早川三代治

古典的議會制度の顛落(執政府の擴大強化的傾向) 小林已智次

今田清二 七

我國の漁業勞働紹介制度 松田武雄

南 鐵藏 二三

前松前藩の産業政策(序說施政方針) 佐藤昌彦

高倉新一郎 二五

清算法人の性質 渡邊 侃

北海道アイヌの社會生活 渡邊 侃 二六

乳牛飼養育成の經濟問題 中島九郎

樺太の拓殖及農業に就て 早川三代治 一

クルノーの國際貿易理論に對するパレットの批評 渡邊 侃

二個の農家經濟調査例示 荒又 操

續本邦に於ける米段當收量の推移と動搖

農家の生計標準 渡邊 侃 二七

農家の生計標準 渡邊 侃 一

明治維新前北海道に於ける旅人の出入改め制度に就て

南 鐵藏 二三

三縣時代に於けるアイヌ勸農策

高倉新一郎 二七

犯罪者の自己辯護

佐藤昌彦 七五

農場規則の法律的的研究

小林已智次 一九〇

フランス法に於けるアパートメント所有權に就て

土屋四郎 三三

土地に關する經濟學的一考察

松田武雄 三七

フアッシュヨ伊太利の人口政策

上原轍三郎 二八三

第三輯

伯國の移民制限問題

上原轍三郎 一

東北地方に於ける小作取締制度

小林已智次 三

旭川市に於ける所得分布

早川三代治 四

農村社會學に於ける基礎的諸問題に就て

池田善長 五

北米合衆國に於ける所謂 Voluntary Domestic Allotment Plan に就て

伊藤俊夫 七

兒童の證言

佐藤昌彦 二七

世界の漁獲統計資料

今田清二 三五

明治維新前の北海道租稅制度志要

南 鐵藏 三三

An Introduction to Land Economics. Takeshi Yajima

渡邊 侃 三九

第二輯

第四輯

江戸時代に於ける蝦夷地移民論 高倉新一郎 三

小作規則の發展並に比較に關する研究資料 小林巳智次 一四三

滿蒙農業移民事業の現段階に於ける民間會社の意義 矢島 武 六

『農政學講義』渡邊侃先生の新著 伊藤俊夫 一八一

農村集團の構成に就て 池田善長 四

『農政學講義』渡邊侃先生の新著 川村 琢 一八五

鮭鱒漁業と蕃殖保護の實際 今田清二 六

フランスに於ける職能代表論の諸傾向 小林巳智次 七

北米合衆國に於ける農作物收穫豫想調査 荒又 操 二七

農産物價格豫測の格率 伊藤俊夫 二六

北海道經濟文化の基礎的條件 南 鐵藏 二七

佐藤男、稻田男共著「世界農業史論」 中島九郎 二九

田邊著「戰後歐洲に於ける土地制度改革史論」 川村 琢 二九

山田譯「ゼドルマイヤー小農經營學」 荒又 操 二九

高岡博士「樺太農業殖民問題」 上原轍三郎 二七

第五輯

百貨店に於ける特殊犯罪 佐藤昌彦 一

權利濫用理論と其の發展 小林巳智次 二

農業變動と景氣循環との關係 伊藤俊夫 三

臺灣と北海道との農業上生産力の比較 渡邊 侃 三

滿洲農業移民の一形態 上原轍三郎 四

農村信仰の諸問題 池田善長 四

奥太利の植民會社案ハンス・デハントの所説 矢島 武 一三

編輯後記

サツボロが我國北方文化の中心地として誕生してからやがて七十年にもなるが、北大には未だに法文科が設けられない。京城や臺北にさへ既に建設されてゐるのに比べれば甚だ寂寥の感に堪えない。自然科学の研究だけでは眞の國民文化の發達は完璧を期し難いことは喋々するまでもあるまい。

併しながら、何時までも政府の施設にだけ望を囑して拱手傍觀して居つても始まらない。假令規模は少なりと雖ども、人文科學に關係のある我々はお互ひに研鑽の途を助け合つて邁進しやう。斯ういふ氣持も手傳つて農學部の一隅にある農業經濟學科の教職員が中心となり、昭和三年十二月、法經會を創設してから既に約十年を経た。其の間休暇中を除き大低月一回の研究會と、今度で六輯の論叢を發刊することになつた。この外に高岡博士在職記念論文集「農政と經濟」をも公にしてゐる。

我が農業經濟教室は札幌農學校の頃からの永い歴史の裡には多くの人材を我國の各方面に送り出し、創業の佐藤男爵を始め、新渡戸博士の如き、何れも國際的に聲譽の高い先覺者を持ち、近くは高岡博士や森本博士の如き學界や一般社會文化の發達に貢獻した大先輩を擁しながら、種々の事情から久しく獨立の研究發表機關に恵まれなかつた。尤も嘗つて高岡博士主宰の下に「カメラ會叢書」として、駒井徳三、板内禮次其他數氏の貴重な文獻を世に送つてゐる。このカメラ會はカメラルヴィツセンシヤフトに因んで名付けられたものであるが只今は農業經濟教室同窓會の名稱として存し別個に發達してゐる。さて出版に就ては特に様々の支障が横はつてゐた。斯うした裡に宛も角七十餘回の研究會と六冊の論叢を持つまでに辿りついたことは、假令最初の期待を充分に未だ果して居ないにもせよ願ひて若干の歡びを覺える。

バック・ナンバーも尙ほ多少残つてゐるから御希望の方は書肆を通してなり又は直接本會になり御申込を乞ふ。

第一乃至第三輯品切

第四輯 金八十錢

第五輯 金一圓

送料 九錢

送料 九錢